

特別勘定マンスリーレポート

スイス年金

新変額個人年金保険(無配当)

ユニット・プライスの推移



※ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための便宜上の参考値で各特別勘定の運用開始時の値を「100」として指数化したものです。

参考 主な投資対象の投資信託の運用状況(出所:クレディ・スイス投信株式会社)

クレディ・スイス世界バランス・ファンド(適格機関投資家専用)

■ 基準価額の騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	3年
クレディ・スイス世界 バランス・ファンド	▲9.82%	▲12.58%	▲10.62%	▲8.17%	24.19%

■ 通貨別構成比

	ファンド	複合指 (参考データ)
米ドル圏	33.68%	37.62%
ユーロ圏	31.74%	31.56%
イギリスポンド	8.58%	8.39%
豪ドル(含NZD)	3.35%	1.77%
スイス・フラン	1.55%	1.92%
日本円	21.09%	18.73%
合計	100.0%	100.0%

* 複合指数はMSCI Worldインデックスの50%、シティグループ世界国債インデックスの50%を加重平均した指数

■ 上位10銘柄

(総組入れ銘柄数 343)

株式	国名	業種	投資比率
MICROSOFT CORP	アメリカ	情報技術	1.02%
CVS CAREMARK CORP	アメリカ	生活必需品	0.89%
CHEVRON CORP	アメリカ	エネルギー	0.86%
CHUBB CORP	アメリカ	金融	0.66%
CHINA MOBILE LIMITED	香港	電気通信サービス	0.62%
FRANCE TELECOM SA	フランス	電気通信サービス	0.61%
SIEMENS AG REG	ドイツ	資本財・サービス	0.59%
INTESA SANPAOLO	イタリア	金融	0.57%
BG GROUP PLC	イギリス	エネルギー	0.56%
UNITED TECHNOLOGIES CORP	アメリカ	資本財・サービス	0.55%
合計			6.93%

債券	クーポン	償還日	投資比率
ドイツ国債	4.00%	2037/01/04	1.75%
ドイツ国債	4.25%	2014/07/04	1.58%
イギリス国債	5.00%	2025/03/07	1.53%
フランス国債	5.00%	2016/10/25	1.24%
第63回利付国債(5年)	1.20%	2012/03/20	1.20%
フランス国債	3.50%	2011/07/12	1.15%
ドイツ国債	3.50%	2009/10/09	1.14%
第260回利付国債(2年)	0.90%	2009/09/15	1.14%
第61回利付国債(5年)	1.20%	2011/12/20	1.07%
フランス国債	3.50%	2015/04/25	1.06%
合計			12.85%

※当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

※その他、次ページの「ご注意いただきたい事項」等を必ずご参照ください。

特別勘定の名称

グローバル・マーケット型

主な運用対象
の投資信託クレディ・スイス世界バランス・ファンド
(適格機関投資家専用)投資信託の
運用会社

クレディ・スイス投信株式会社

ユニット・プライスの騰落率

1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
▲9.86%	▲12.77%	▲11.10%	▲9.23%	19.39%	21.60%

特別勘定資産内訳

	構成比(%)
現預金	0.3%
預金	99.7%
その他	100.0%

■ 資産別構成比

	ファンド	複合指数 (参考データ)	ベット
株式	50.48%	50.00%	0.48%
北米地域	24.73%	25.63%	-0.90%
欧州(除く英国)	13.23%	11.64%	1.59%
英国	4.40%	5.40%	-1.00%
日本	4.02%	4.85%	-0.83%
香港・シンガポール	2.34%	0.86%	1.48%
豪州・ニュージーランド	1.75%	1.61%	0.15%
債券	45.01%	50.00%	-4.99%
米ドル圏	10.17%	11.29%	-1.12%
欧州(除く英国)	15.75%	21.84%	-6.10%
英国	2.21%	2.99%	-0.77%
日本	16.88%	13.88%	3.00%
現預金	4.52%	0.00%	4.52%
合計	100.00%	100.00%	0.00%

■ 運用コメント

市場概況

1月は金融セクターからの悪材料がきっかけとなって株式市場は大幅な下落に見舞われました。欧米の主要銀行は米国のサブプライム問題に関連した予想を上回る額の評価損を追加計上しました。また、格付け会社フィッチがモノライン保険会社(金融保証会社)の格付けを引き下げたことが銀行や保険会社に影響を及ぼすのではないかと懸念されました。しかし米FRB(連邦準備制度理事会)が予防的な大幅利下げに踏み切ったことや米政府が景気刺激策を発表したことから、やや落ち着いた動きを取り戻しました。米国企業の四半期決算は金融セクターでは失望的な結果となっていますが全体として見ると過半数は事前予想を上回っています。債券利回りは低下し為替市場では円がドルとユーロに対し買われしました。

運用概況

1月のファンドのパフォーマンスは基準価額ベースで前月末比約9.8%下落しました。グローバル債券の保有は株式相場下落の影響を緩和しました。債券の中では日本債券と米国債券をやや多めに保有したことはプラスとなりましたが、ユーロ圏を少なめに保有したことはマイナスとなりました。株式では、特にユーロ圏、香港・シンガポールなどの株式を多めに保有していたことから相場下落の影響を受けました。為替に関しては、米ドル、ユーロ、英ポンドを基準値より少なめに、円を多めに保有したことが為替変動の影響を緩和しました。

運用方針

マクロ経済面では、米国が依然として問題の種である一方、アジアや新興国は比較的堅調です。各種データは米国経済の穏やかな減速を示していますが、米FRBは成長を促進するために積極的な措置を講じており、他の主要国中央銀行も歩調を合わせています。こうしたことの効果が徐々に現れて来ると見られます。新興国ではロシアが2007年に8.1%という目覚ましい成長率を記録しており、2008年にクレジット市場の問題から景気が鈍化しても国営銀行や開発機関による融資の増加が緩衝材となるでしょう。中国の経済指標は好調なモーメントを維持しており、小売売上高が増加しています。世界的に賃金の上昇が低下しており、コア・インフレ率を抑制する要因となるでしょう。このため世界の中央銀行には利下げ余地が出てきます。まずは株式市場の変動性が依然として高いことが予想されるため、ポートフォリオは当面の間はグローバル株式のオーバーウェイト幅をやや縮小し、中立に近づけることとします。為替については引き続きドルなど外貨をやや少なめに保有する方針です。

当資料はアクサ フィナンシャル生命が新変額個人年金保険「スイス年金」の特別勘定について運用状況などを報告する資料です

ご注意いただきたい事項

▲ 投資リスクについて

この保険の積立期間(運用期間)中の運用は特別勘定で行われます。特別勘定資産の運用実績に基づいて死亡給付金額、年金額および解約払戻金額等が変動(増減)します。特別勘定資産の運用は、株式および公社債等の価格変動と為替変動等に伴う投資リスクがあり、運用実績によってはお受け取りになる年金額や解約払戻金額の合計額が一時払保険料を下回ることがあります。これらのリスクはすべてご契約者に帰属します。

▲ 元本欠損が生じる場合があります

諸条件により、ご契約者などが受け取る金額の合計額が、お払込保険料の合計額を下回る場合もあります。保険会社の業務又は財産の状況により、年金額、給付金額、解約払戻金額等が削減されることがあります。

▲ 諸費用について

契約初期費	一時払保険料に対して 5% を特別勘定繰入前に控除します。
保険関係費	特別勘定の資産総額に対して (年率0.75%+運用実績に応じた費用(※)) /365日を毎日控除します。 ※運用実績に応じた費用:運用実績を毎日判定し、実績が 年率1.5%を超過 した場合のみ、 超過分1%あたり0.1%(上限1.25%) 控除します。
年金管理費	年金支払開始日以後、支払年金額の 1% を年金支払日に控除します。
資産運用関係費	グローバルマーケット型 年率0.714%程度

資産運用関係費は将来変更されることがあります。

その他お客さまにご負担いただく手数料には、信託事務の諸費用等、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金がかかりますが、費用の発生前に金額や割合を確定することが困難なため表示することができません。また、これらの費用は各特別勘定がその保有資産から負担するため、基準価額に反映することとなります。したがって、お客さまはこれらの費用を間接的に負担することとなります。

その他ご留意いただきたい事項

- 当資料は、特別勘定の主な投資対象である投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
- 新変額個人年金保険「スイス年金」は、生命保険商品であり投資信託ではありません。また、ご契約者様が直接投資信託を保有されている訳ではありません。
- 新変額個人年金には複数の特別勘定グループが設定されており、「スイス年金」には「特別勘定グループ(TS型)」が設定されています。保険料繰り入れおよび積立金の移転は「特別勘定グループ(TS型)」に属する特別勘定に限定されます。「特別勘定グループ(TS型)」以外の特別勘定グループに属する特別勘定への保険料の繰り入れおよび積立金の移転はできません。
- 特別勘定および特別勘定の主な運用対象となる投資信託の内容が変更されることがあります。
- 特別勘定資産の運用実績は、特別勘定が主な投資対象とする投資信託の運用実績とは異なり、一致するものではありません。これは、特別勘定は投資信託のほかに、保険契約の異動等に備えて一定の現預金等を保有していることや、積立金の計算にあたり投資信託の値動きには反映されていない保険にかかる費用等を特別勘定資産から控除していることなどによるものです。
- ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための便宜上の参考値で、各特別勘定の運用開始時の値を「100」として指数化したものです。

ご検討に際しては、「契約締結前交付書面(契約概要/注意喚起情報)」をご契約前に十分にお読みいただき、投資リスクや負担いただく諸費用等の内容についてご確認・ご了解ください。また「商品ガイドブック」、「ご契約のしおり-約款」、「特別勘定のしおり」等をあわせてご覧のうえ、お申込みいただきますようお願いいたします。詳細につきましては変額保険販売資格を持つ生命保険募集人にご相談ください。

[募集代理店]

 **東京スター銀行** 株式会社 東京スター銀行
〒107-8480 東京都港区赤坂1-6-16

0120-330-655

(平日9:00~21:00 土日祝9:00~17:00 年末・年始を除く)

[引受保険会社]

 **アクサ フィナンシャル生命保険株式会社**
〒160-8335 新宿区西新宿1-23-7 新宿ファーストウエスト10F
TEL 03-6911-9100 FAX 03-6911-9260
<http://www.axa-financial.co.jp>
AFL-2008-210-20080225/20090331